

スーパー野営法



ボーイスカウト静岡県連盟 浜松地区

浜松第12団ベンチャー隊 鈴木 駿

はじめに

ボーイスカウト静岡県連盟

浜松第12団 鈴木 駿

1. プロジェクト実施に対する経緯（ニーズの発意）

日本ジャンボリーに参加するのに、ただ参加するのではなく、自分に課題を課して参加するほうが日本ジャンボリーがより楽しくなるだろうし、成長することができると思ったので、今回このプロジェクトを行うことにした。

また、ボーイスカウト（BS）のときにたくさんの野営法を教えてもらったので、それを今回生かさないわけにはいかないと思い、日本ジャンボリーで自分の技能を試してみることにした。そして日本ジャンボリーで学ぶことも多いとおもうので、BSで学んだこととあわせて、自分のオリジナルなスーパー野営法を考えて、作り上げようと思った。

このようなことが、このプロジェクトを行おうと思った理由だ。

2. 個人の目標（資質の面）

No.	自分の成長目標
1	日本ジャンボリーという大会で、自分の技能を試しつつ、多くのことを学び、成長する。

3. 挑戦するアワードおよび技能章

アワードの分野	技能章
高度な野外活動 （日本連盟が主催する大会に課題を設定して参加する）	野営章

プロジェクト企画書

テーマ 「 スーパー野営法 」

ボーイスカウト静岡県連盟

浜松第12団 鈴木 駿

1. 目的

日本ジャンボリーという全国規模の大会で、BSのときにやってきた野外活動の技能を試し、また思索して、そして交流し、自分オリジナルな野営法をつくりだす。

2. 活動内容（目標）

活動	内 容	期 間	場 所
1	机上① 日本ジャンボリーについての知識を得る	7月25日～ 8月2日	自宅
2	机上② 快適な野外生活方法を知る	7月31日～ 8月8日	自宅他
3	日本ジャンボリーに参加	8月2日～ 8月8日	石川県
4	野営章を取得する	8月8日～ 8月30日	自宅他
5	プロジェクト報告書を作成する	8月20日～ 9月10日	自宅

3. 参加者 浜松12団VS隊 鈴木 駿

4. 期 間 平成18年7月25日（土）～平成18年9月10日（金）

5. 予算概要

日本ジャンボリー参加費	60,000円
-------------	---------

合 計	60,000円
-----	---------

6. 隊長の評価

活動実施計画書①

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	日本ジャンボリーに参加するので、それなりに詳しい知識をもって参加できるようにするため
----------	--

3. 活動内容（目標） （活動1）	机上① 日本ジャンボリーについての知識を得る
----------------------	---------------------------

4. 行動計画（日程）

月 日	内 容	場 所
7月25日～ 8月2日	日本ジャンボリーについて詳しく調べる	自宅
7月25日～ 8月2日	14NJについて詳しく調べる	自宅
7月25日～	14NJについてまとめる	自宅
???	14NJについて学校に報告（担任から要望があるので）	学校

5. 人的・物的資源	スカウティング 14NJホームページ他
------------	------------------------

6.

7. 期 間	平成18年7月25日～平成18年8月2日
--------	----------------------

8. 予算概要	必要資料代 コピー代	
		合計 円

活動実施計画書②

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	「日本ジャンボリーで快適な野外生活をおくるため」に研究
----------	-----------------------------

3. 活動内容（目標） （活動2）	机上② 快適な野外生活方法を知る
----------------------	---------------------

4. 行動計画（日程）

月 日	内 容	場 所
7月31日～ 8月8日	日本ジャンボリーで快適な野外生活をおくるためにどうすればよいか調べる	自宅
8月8日	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	野営に関する資料・パソコン
------------	---------------

6.

7. 期 間	平成18年7月31日～平成18年8月8日
--------	----------------------

8. 予算概要	野営に関する資料	円	合計	円
	コピー代	円		

活動実施計画書③

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	日本ジャンボリーを楽しむ 活動実施②で調べたことを実際にやってみる
----------	--------------------------------------

3. 活動内容 (活動3)	日本ジャンボリーに参加
------------------	-------------

4. 行動計画(日程)

月 日	内 容	場 所
8月2日～8日	日本ジャンボリーに参加 日本ジャンボリーで快適な野外生活をおくするため に調査したことを実際に体験する	石川県
8月8日	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	日本ジャンボリー持ち物
------------	-------------

6.

7. 期 間	平成18年8月2日～8月8日
--------	----------------

8. 予算概要	日本ジャンボリー参加費 写真	60,000円	合計 60,000円
---------	-------------------	---------	------------

活動実施計画書④

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	野営章の取得
----------	--------

3. 活動内容(目標) (活動4)	地区野営章考査会に参加
----------------------	-------------

4. 行動計画(日程)		
月 日	内 容	場 所
8月8日～30日	野営章のレポート作成	自宅
8月30日	活動実施報告書作成	団本部

5. 人的・物的資源	必要資料
------------	------

6.		

7. 期 間	平成18年8月8日～8月30日
--------	-----------------

8. 予算概要	必要資料	500円	合計 500 円
	コピー代	円	

活動実施報告書①

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	日本ジャンボリーに参加するので、それなりに詳しい知識をもって参加できるようにするため
----------	--

3. 活動内容（目標） （活動2）	机上① 日本ジャンボリーについての知識を得る
----------------------	---------------------------

4. 行動報告（日程）

月 日	内 容	場 所
7月25日～ 8月1日	日本ジャンボリー及び14NJについてインターネットを使い調べる	自宅

5. 人的・物的資源	野営に関する資料
------------	----------

6. 収支報告

使用品	金額	備考
野営関係資料		
コピー代	0円	自宅で行ったので

7. 期 間	平成18年7月25日～平成18年8月1日
--------	----------------------

8. 実施展開に対する反省・評価

日本ジャンボリーを調べることにより、参加する14NJの内容が理解できた。
隊訪問交歓や地元との交流が楽しみだ。

(1) 日本ジャンボリーについて

< 日本ジャンボリーの概要 >

日本ジャンボリーは、海外からの参加者を交えて全国の代表スカウトが一堂に集い、4年に一度行われる、国内で最も大きな国際キャンプ大会です。

ボーイスカウト運動は、1907（明治40）年に英国で始まり、今では世界216の国と地域に2,800万人以上の青少年が活動する、グローバルな社会教育運動に発展しています。このボーイスカウトの100周年、2007（平成19）年に向け、「世界スカウト運動100周年記念事業」が世界各地で展開されています。

そこで、来年（2006年）開催の「第14回日本ジャンボリー」は、スカウト運動の100年の歴史を振り返り、原点を見つめ直す大会ともなっています。参加するスカウトたちは、国内外のスカウト仲間との相互交流を通して、「2007：ひとつの世界、ひとつのちかい」（2007：One World One Promise）／（第21回世界スカウト・ジャンボリー大会テーマ）を実践することが目的とされています。

また、この大会のプログラムは、ふだんの野外活動を通じて培ったものをもとに、キャンプ生活を通して生きる力を育み、スカウトの自発活動を促して、地域社会におけるスカウト運動の一層の発展と躍進をめざすものです。

< 第14回日本ジャンボリー（略称：14NJ）の目標 >

1. 自発活動に基づくゆとりあるキャンプ生活の実践
2. エコロジーを考えたキャンプ生活の展開
3. 交際交流プログラムを通じた国際理解・国際貢献・国際協力の実施
4. 奉仕活動を通じた地域社会との交流

< 14NJのテーマ >

「風の不思議を突っ走れ！」 —Scouts Wave 100—

能登では、古く万葉の時代より、海からの風を「東風」（あいの風）と呼びました。この風に乗って大陸の文化や人々が珠洲の地に渡ってきたと伝えられて、能登の豊かな風土を育み、独自の文化を育ててきた風だと、言われています。

第14回日本ジャンボリーは、この「あいの風」の吹く能登の地において、豊かな自然と文化に触れ、世界のスカウトたちと共に手を結んで、「世界スカウト運動100周年」を迎える大会を目指しているそうです。

< 開催期間 >

開会式：平成18年8月3日（木）～閉会式：8月7日（月）

会場は8月1日（火）午後には開場、8月9日（水）午前には閉場します

<大会開催場所>

能登半島の最先端に位置する珠洲市の中心地より、東へ5 km。

大自然に囲まれ、オートキャンプ場、ホテル等を備えたリゾート地「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」とその周辺が会場です。

石川県珠洲市蛸島町 「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

37° N 26'24" 137° E 13'36"

海拔 平均5 m

車で：金沢の中心地より能登有料道路を經由して、約2時間半。

小松空港および富山空港から、約3時間。

能登空港から、約1時間。

<プログラム>

基本方針

ジャンボリーは、参加者にとって、一生に一度の貴重な経験となる大きな行事です。思い出多い大会とするために、地元能登半島の特色を生かしたプログラムを設定します。期間中、ひとりでも多くの友人が得られるように、ゆとりのある、ジャンボリー活動をめざしていました。

全体行事

開会式・ジャンボリー大集会・閉会式の3つで、参加者が一堂に集いました。

選択プログラム

1. 選択プログラムは、ジャンボリー本部、サブキャンプ本部が示す日程で、参加者が選択して参加するものです。
2. 各サブキャンプや参加隊が自由にプログラムを組んで活動することを奨励します。サブキャンプにおける選択プログラムの実施にあたっては、日本ジャンボリーがその基本を示しますが、計画や実施方法などは、それぞれに行うことができます。
3. 各種技能の向上、基本の充実のため、ジャンボリーアワードを設定します。

信仰奨励と宗教儀礼

1. それぞれの信仰に基づいた、スカウトOWN、日々の礼拝の実施を奨励します。
2. 8月5日の午前、教宗派に分かれて、宗教儀礼を実施します。

環境整備

キャンプ地を汚すことなく、気持ちよく感謝のみを残して退場することがスカウトキャンプの原則です。

交歓・交流

隊訪問交歓

隊訪問交歓はジャンボリーの最も有意義なプログラムの一つです。

地元との交流

地元の青少年をジャンボリーに招き、また参加スカウトは名所や地元施設を訪れ伝統芸能や歴史を学びます。

活動実施報告書②

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	「日本ジャンボリーで快適な野外生活をおくるため」に研究
----------	-----------------------------

3. 活動内容(目標) (活動3)	快適な野外生活方法を知る
----------------------	--------------

4. 行動報告(日程)

月 日	内 容	場 所
7月31日～8月2日	スーパー野営法についてインターネットなどで調べた	石川県
8月2日	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	パソコン
------------	------

6. 収支報告

使用品	金額	備考
合計	0円	

7. 期 間	平成18年7月31日～8月2日
--------	-----------------

8. 感想	14NJで快適に過ごせそうだ。
-------	-----------------

(2) 野営法研究

はじめに

ここでは、野営法研究を衣・食・住 の3点から見ていく。

住

まずは、寝ることが野営に一番大切！！

寝ることについて

寝るという事は、肉体的にも、精神衛生上もたいへん重要な事です。それも、安眠するという事が最も重要な課題です。まず、寝る場所はなるべく平らなところが理想です。どうしても斜面しかない場合は頭が高い方に来るように場所を選ぶのは当然です。次に凸凹がないか、石が落ちてないか、切り株がないかを簡単に調べます。ドングリほどのほんの小さな石が背中当たただけで寝られません。乾燥した枯れ草や葉っぱがある場合はそれを敷きつめクッションにすると野外ならではの豪華なベッドになります。

ここで忘れてならないのが、ロールマット、これはスカウトにとって必需品です。スカウトとしては、他の荷物を削ってもこれは手放せません。適度なクッションもありますし、断熱効果があって、しかも地面の湿気を遮断します。それに、寝るときだけじゃなくて、沢を遡行していて、泳ぐ場面になったとき、手頃なフロートの役目も果たします。

寝床さえ出来上がれば、あとは、シュラフにもぐって寝るばかりですが、シュラフも結構かさばります。ここはひとつ奮発して、ゴアテックスのシュラフカバーなんかを利用するのも一つの手です。これさえあれば、ツェルトも必要ありません。

ちょっと変わった寝袋があります。右の写真は **Outdoor Research** の **B I V Y S A C K** というものです。ゴアテックス製で頭部に防虫メッシュがついているシュラフとツェルトが一緒になったようなものです。重さは **1 lb 6 oz** ですから約 **630g** ほど。こんなものも良いかも知れない。



＜テントの設営の仕方＞

テントの中で寝るには、テントを建てることができなければ、寝ることはできない。ジャンボリーでもっとも大切な、テントの張り方は次の通り。次のテントは、ポール2本のオーソドックスなタイプのドーム型テント。

まず、ポールをセットする。



ポールをスリーブに通す。



ポールの片側先端をグロメットに入れる



ポールをたわませ、テントを立ち上げる



本体にフライをかぶせ、四隅をクイックバックルで本体と接続する。
風がある場合は、フライをかぶせる前に本体の四隅をペグダウンする。





ペグダウンは四隅と3辺の中間、そして前室部分を行う。
地面との隙間が多少できるが、ほとんど問題にならない



その他、必要に応じて張綱4本を使用しペグダウンを行えば、かなりの耐風性を誇る。
全てをペグダウンすると、その数は12箇所になる。



完成

衣

清潔を保つには、衣服はとても重要になる。

まず、衣服をキャンプする日数分と少し余分に持っていく。そうすることで、こまめに着替えることができ、清潔をたもつことが、できる。

また、雨具を必ず持っていき、ぬれないようにする。→風邪防止

食

食料は、基本的には、JHQ（SHQ）が出してくれるので、その、保存について、ここでみていく。

<レトルト食品の取り扱いの注意>

レトルト食品は、やわらかい缶詰といわれるが、針のように細くとがったもので刺すと、穴（ピンホール）があいてしまいます。そしてその穴から空気や細菌が入ることによって、腐敗につながることもなる。

針でさしたような穴は、ちょっと見た目には気づかないこともあるので、取り扱うときや保存するときはとがったものや刃物などを近くにおかないようにしなければならない。SHQからの配給時も、外箱のないものについてはパウチ（袋）の外に油や調味液がにじみ出していないか、注意する。

<冷凍食品の保存>

冷凍食品が製造過程で凍結されるマイナス30～40℃という超低温のもとでは、食中毒や腐敗を招く細菌が増殖することはない。商品を開封しないままマイナス18℃以下に保てば賞味期限内は保存できます。

しかし、ジャンボリー会場では、クーラーボックスに氷をいれることにより、マイナス18℃以下に保ち続けることが難しく、水分の蒸発や油の酸化などがゆっくりとした速度で進み、味や食感が落ちてしまいます。そのため、クーラーボックスに未開封で保存して配給後1～3日に食べるようにする。

また、商品を開封してしまうと、乾燥や油やけをしたり霜がつきやすくなるなど、品質が低下しやすくなる。開封後の保存の際には、パッケージを密封したり、パッケージの上からビニール袋などで包むと、乾燥や油やけを軽減できる。

<水分補給>

夏なので、水分補給を必ずおこなわなければならない。

しかし、一度にがぶがぶ飲むのではなく、こまめに、飲んでいくことが、ポイントになる。

活動実施報告書③

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	日本ジャンボリーを楽しむ 活動実施②で調べたことを実際にやってみる
----------	--------------------------------------

3. 活動内容(目標) (活動3)	日本ジャンボリーに参加
----------------------	-------------

4. 行動報告(日程)

月 日	内 容	場 所
8月2日～8月8日	日本ジャンボリーに参加	石川県
8月9日	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	日本ジャンボリー持ち物 野営章関係物
------------	-----------------------

6. 収支報告

使用品	金額	備考
14NJ参加費	60000円	
写真代	0円	
合計	60000円	

7. 期 間	平成18年8月2日～8月9日
--------	----------------

8. 実施展開に対する反省・評価
14NJではとても参考になった。 自分としても14NJに参加することで、1回り成長することができてよかった。

<ジャンボリー全体について>

思った以上に人がたくさんいて、びっくりした。設営場所の環境がもう少し、いい場所だったら・・・と思う。

<衣>

もう少し、たくさん服を持っていけばよかったと思っている。
一日、2枚くらいあっていいと思う。
洗濯をバケツでしたが、かなり面倒くさかった。
洗濯するくらいなら、たくさんもっていくべきだと、つくづく思った。

<食>

食中毒もおこらず、良かったと思う。
もう少し、氷の配給をこまめにやるべきだと思った。
水分は、売店があったので、個人個人が注意すれば、そこまでおおきな問題ではないと感じた。

<住>

テントに関しても、特にトラブルはなかった。
だが、朝、テントが濡れてるのは、まいった。



← 1SC メインゲート



← 設営完了
下が草で、最初、蚊の攻撃がすごかった



←水道 (飲めない)
夜は、監視のおじさんがいる。(1SCでは)

平成18年8月28日

活動実施報告書④

1. 活動のテーマ	スーパー野営法
-----------	---------

2. 活動の目的	野営章の取得
----------	--------

3. 活動内容（目標） （活動4）	地区野営章審査会に参加
----------------------	-------------

4. 行動報告（日程）		
月 日	内 容	場 所
8月8日～8月26日	野営章レポート作成	自宅
8月27日	野営章審査会に参加し、合格した	12団野営場
8月28日	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	必要資料
------------	------

6. 収支報告		
使用品	金額	備考
参加費	0円	
合計	0円	

7. 期 間	平成18年8月8日～8月28日
--------	-----------------

8. 実施展開に対する反省・評価
野営章に合格できてよかった。 このプロジェクトの柱が達成できた。

プロジェクト報告書

テーマ「スーパースーパー野営法」

ボーイスカウト静岡県連盟

所属団 浜松12団 氏名 鈴木 駿

1. プロジェクトの目的

日本ジャンボリーという全国規模の大会で、BSのときにやっていた野外活動の技能を試し、また思索し、互に交流し、自分オリジナルな野営法をつくりだす。

2. 目的に対する結論(まとめ)

今回、このプロジェクトを実施してとてもよかったと思っている。
それ特に14NJも120%楽しむことができたからだ。

プロジェクトの動機で述べたことは、すべて行うことができた。
個人の目標に関しても、しっかり成長することができた。

4つの活動について簡単にここで示す。詳細は報告書②から説明。

活動①… 時間の関係上、詳しく調べられなかった。

しかし、それなりにどうものなのかわかった。

活動②… スーパースーパー野営法を作ることができた。いろいろ野営法を知ることができた。

活動③… 日本ジャンボリーで多くのことを学び、楽しむことができた。
この活動が「行動」にあたる。

活動④… 野営章に挑戦し、合格した。

これから、キャンプをするときに、今回得た野営法を使っていきたい。

結果… スーパースーパー野営法を14NJで実際にやってみて、役に立つこともあつて感じた。

3. プロジェクトに対して

①反省

このプロジェクト自体が、「14NJ」に参加、「野営章取得」「野営法研究」と3つの柱からなっており、すべて予定通り行うことができた。

14NJの長期キャンプの中で野営法に必要なことを学び、野営章をとったことでより確かなものにし、スーパー野営法としてまとめたことで、スーパー野営法を自分の手にすることができた。

②評価

14NJに行った時に、他のSCや隊の野営法をもう少し見ておけばよかったと思う。

野営章に関しては、スムーズにとることができてよかったと思う。

スーパー野営法をまとめたのが、8月の終わりごろになってしまい、作成期間が限られ、内容が少し薄かったように思えた。

③感想と課題

プロジェクトの大変さを実感した。

企画・計画までは、それほど苦ではなかったが、いざ実行しようとする、以外と難しかった。

今回のプロジェクトは14NJに間に合わせるようにしたので、時間が限られてしまったが、次のプロジェクトはもう少し余裕をもって深くやっていきたい。

5. 個人の目標(資質の面)に対して

①反省

目的には書いてなかったが、決断力と判断力と自主性をこのプロジェクトを通してつけたかったのだが、あまりつかなかった。したがって、いろいろなことで西村さんに迷惑をかけたしまった。

②評価

目的の内容はすべて達成できた。
14NJに参加し、自分の野営技能を言試し新しい技能・知識を得ることができた。また野営章もとり、野営法をまとめることもできた。
14NJに課題を設定して参加することができた。

③課題

やはり、決断力や判断力は大切なので、次のプロジェクトは個人の目標として、身に付けていきたい。
あと、写真をたくさん撮ることをしていきたい。

◇隊長の評価

隊長名

